

平成30年度
新潟大学歯学部同窓会学術セミナーⅡのご案内

小児の歯の外傷治療に必要な知識および注意点

講師 東京医科歯科大学名誉教授
高木 裕三 先生

昭和47年3月 新潟大学歯学部 卒業(2期生)
昭和53年3月 東京医科歯科大学大学院歯学研究科 修了
昭和53年4月 東京医科歯科大学歯学部小児歯科学講座 助手
昭和55年9月 Northwestern Univ. Dental School Visiting Instructor
平成9年2月 東京医科歯科大学歯学部小児歯科学講座 教授
平成24年4月 東京医科歯科大学 名誉教授



日時 平成30年9月30日(日) 10:30~12:00

会場 新潟大学歯学部講堂 定員 50名

参加費:4,000円

新潟大学歯学部同窓生で、同窓会費の新規および現在口座自動振替利用会員
さらに前納制度払い込み済み済み卒業後5年目以内の方は無料です。

今年度2回目のセミナーは、本学の2期生で東京医科歯科大学名誉教授の高木裕三先生に講師をお願いしました。

高木先生には、乳歯および幼若永久歯の外傷治療について、豊富な臨床経験と研究成果に基づいてご講演していただきます。また、本年4月の診療報酬改定で「小児口腔機能管理加算」が新設されたことに関連して、「小児の口腔機能発達不全症」についてもお話していただく予定です。

本セミナーは、外来環の届出に必要な研修項目の偶発症に対する緊急時の対応・医療事故及び感染症対策等の医療安全対策に対応するセミナーです。受講者にはセミナー終了後に修了証をお渡します。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 新潟大学歯学部同窓会学術部
gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp

小児の歯の外傷治療に必要な知識および注意点

乳歯および幼若永久歯は代謝という観点で極めて活発な活動期にあるので、外傷による影響が成人の歯と異なる形で表出することが多い。これらの影響には相対的に好ましいものと好ましくないもの双方があり、日常臨床では小児の歯の外傷への対応の際に歯の代謝の観点を常に意識している必要がある。

例えば、歯冠破折により露髄した幼若永久歯の場合の歯髄への対応は直接覆髄法と生活断髄法、抜髄法の選択肢が挙げられる。成人であれば治療法として抜髄法が第一選択となることが多いが、幼若永久歯では生活断髄法が第一選択として推奨される。その理由としては、直接覆髄法では歯髄に加わった傷害を見逃す可能性があり、抜髄法では受傷歯の歯根形成が停止してしまう。ところが、生活断髄法であれば歯髄切断時に出血の色と程度で歯髄の活性を評価できることに加え、歯根歯髄が保存される事で歯根形成が継続し、受傷歯の形態と機能を将来に渡ってより望ましい状態で保持できる事になる。一方、成人のエナメル質亀裂は特段の対応がなされない事が多い。しかし、萌出後間もない小児の歯は歯質形成が完了しておらず、薄い象牙質や太い象牙細管は歯髄感染のリスクを高める要因になっている。したがって、象牙質破折はもとより、エナメル質破折や単なる亀裂であっても乳歯および幼若永久歯の場合は出来るだけ速やかに表面をレジン等で被覆し、象牙細管を唾液等に晒すことのないように心がけてはならない。

ところで、乳歯列期の小児では形成途上の永久歯歯胚は先行乳歯の歯根近傍に存在しており、両者の位置関係により乳歯への外力が後継永久歯歯胚を傷害する可能性がある。したがって、乳歯の外傷、特に陥入や側方転移の場合には受傷歯の歯根、特に根尖の位置を推測し、後継永久歯胚への傷害の有無を予測することが処置法の選択に極めて重要となる。幸いなことに、受傷した乳歯の根尖の位置は切縁の位置からある程度推測できるので、乳歯の外傷の際にはこういった視点での評価を是非心掛けたい。

以上に記載した状況に代表されるように、小児の歯の外傷では乳歯および幼若永久歯の持つ生物学的特徴、或いは両者の立体的な位置関係が治療方針の決定および治療結果に大きな影響を与える。そこで、本セミナーではこれらについて症例を提示しながら解説を加えてみたい。

なお、本年4月の診療報酬改定で「小児口腔機能管理加算」が新設されているので、「小児の口腔機能発達不全症」についても若干の説明を加えてみたい。

申し込み方法

※セミナー申し込み方法はメール受付のみです。携帯電話から送信する場合は必ずドメイン (@dent.niigata-u.ac.jp) 指定受信の設定をして下さい。

※メールの申し込み順に「申し込み確認票」をメール送信いたします。申し込み確認票に参加費の振込先及び入金期日を記載いたします。入金期日までに参加費をご入金下さい。

※以下の必要事項を新潟大学歯学部同窓会学術部 (gakujutsu@dent.niigata-u.ac.jp) にメールでご連絡下さい。タイトルは「同窓会学術セミナーⅡ申し込み」として下さい。

必要事項 氏名:

出身大学:

卒業年度(何期):

メールアドレス:

※新潟大学歯学部同窓会ホームページ (<http://www.dent.niigata-u.ac.jp/alumni/>) からの申し込みも可能です。

※申し込み締め切りは平成30年9月21日(金)です。

※本セミナーは、外来環の届出に必要な研修項目の偶発症に対する緊急時の対応・医療事故及び感染症対策等の医療安全対策に対応するセミナーです。なお、修了証はセミナー終了後にお渡しいたします。途中入場・退場された方にはお渡しできませんので予めご了承下さい。

※キャンセルの場合は、入金いただいた受講料の返金は行いません。代理出席は可能ですので、受講者が変更になる場合は事前にご連絡下さい。

※自家用車で来られる方は構内か近隣の有料駐車場をご利用下さい。